

平成 25 年 1 月 28 日

各 位

マ ネ ッ ク ス 証 券 株 式 会 社  
代 表 取 締 役 社 長 C E O 松 本 大

## 「MONEX個人投資家サーベイ 2013 年 1 月調査」 日米株の見通しはDIが共に 20 ポイントを超える上昇

マネックス証券株式会社（以下「マネックス証券」）は、2009 年 10 月より、マネックス証券に口座を保有する個人投資家を対象に、相場環境に対する意識調査を月次で実施しております。

このたび、2013 年 1 月 18 日～21 日にインターネットを通じて実施したアンケート調査 1,377 件の回答結果を報告書にまとめました。マネックス証券チーフ・ストラテジスト広木 隆の総括と併せてご活用ください。

### **【調査結果要約】**

#### **(1) 日本株および米国株DI<sup>(注)</sup>は大幅に上昇**

【日本株 DI】(2012 年 12 月) 50 → (2013 年 1 月) 73 (+23)

【米国株 DI】(2012 年 12 月) 31 → (2013 年 1 月) 52 (+21)

【中国株 DI】(2012 年 12 月) -26 → (2013 年 1 月) -16 (+10)

2012 年 12 月から今回実施した調査の週にかけて日経平均は震災前の水準を回復しました。米ダウ平均も 2012 年 10 月初旬につけたリーマンショック後の高値に迫りました。日経平均、米ダウ平均の回復が個人投資家心理の改善を促し、日米株 DI は共に前月から 20 ポイント以上の大幅な上昇を記録しました。

(注)「上昇すると思う」と回答した割合 (%) から「下落すると思う」と回答した割合 (%) を引いたポイント。

#### **(2) 円安・金融緩和期待が自動車などの順位を押し上げ**

個人投資家が「魅力的であると思う業種」ランキングでは、「自動車」、「機械」、「海運」、「鉄鋼」など、円安が追い風になる業種が順位を上げていることが目立ちました。特に「自動車」は、米国での販売が年率換算で 1500 万台を回復するなど堅調に推移していることも好感し首位に転じました。前回調査（2012 年 12 月実施）まで 11 ヶ月首位を守っていた「医薬品」は 2 位へ後退となりました。

#### **(3) 今後 3 ヶ月程度の米ドル／円相場の見通しは円安派が 8 割弱に**

今後 3 ヶ月程度の米ドル／円相場の見通しについて、「円安になると思う」との回答が前回調査時から 5 ポイント増加し 8 割弱に達しました。今回の調査では、調査翌週（1 月 21, 22 日）に行われた日銀金融政策決定会合での物価目標の決定などが既に見込まれていたこともあり、円安を見込

む向きは 2012 年 10 月実施調査時から 4 ヶ月連続で増加しました。

**(4) 個人投資家が注目するトピックは国内への注目度が全ての項目で上昇**

日本の個人投資家の関心は「金融政策」をはじめとする日本国内に引続きシフトしています。投資判断にあたり個人投資家が注目するトピックについて、国内「金融政策」(68.5%→78.8%)、「金利動向」(54.8%→64.0%)、「為替動向」(61.9%→71.1%) はいずれも 2012 年 12 月調査時から 10 ポイント前後の上昇となり、個人投資家の注目は国内要因に集中してきていることがわかりました。

**(5) 安倍政権に期待することとしては経済に関する意見が圧倒的多数に**

今回の調査では、2012 年末に発足した安倍政権に期待することについて問う設問を追加しました。政権に期待することとしてはデフレ脱却や雇用回復など経済政策に関する事柄が多数を占めました。また、外交や財政規律に関する期待も見られた一方、「特に何も期待しない」とする意見も一定割合見られました。

調査結果の詳細は、添付の別紙レポートをご参照ください。

**【お問合せ先】**

マネックス証券株式会社  
マーケティング部 PR 担当 松崎 電話 03-4323-3800